

大前神社は奈良時代に再建されたといわれています。平安時代の905年に「延喜式」の式内社に選ばれました。これは、当時の国が大前神社を立派な神社として認めたということになります。

大前神社の歴史は古いことから、真岡地方を治めた芳賀氏や江戸時代に活躍した二宮尊徳(金次郎)とのゆかりもあります。



(撮影 上野訓宏)

ほんでん
本殿

安土桃山時代から江戸時代にかけての時期に建てられました。(今から約400年前)唐獅子・龍・象・麒麟などの霊獣彫刻がほどこされています。

はいでん
拝殿

江戸時代(1688年)に完成したといわれています。彫刻などに江戸時代の特徴がよくあらわれています。



(撮影 上野訓宏)



(撮影 上野訓宏)

りょうぶとりい
両部鳥居

江戸時代(1802年)に建てられた鳥居です。木造の鳥居で、江戸時代に建てられたものとしては、県内では最大です。

やまのうちめいふこうとくのひ
山内明府功德之碑

江戸時代の終わり頃^{ころ}に真岡^{かつやく}で活躍^{めいだいかん}した名代官

山内^{やまのうち}総左衛門^{そうさえもん}を記念^{きねん}して建て^{きねん}られた記念碑^ひ

です。その当時、山内代官^{ふか}の部下^{ふか}であった二

宮尊徳^{みやのり}とともに、真岡^{はってん}の発展^{はってん}のために活躍^{はってん}し

た名代官^{めいだいかん}です。



(撮影 上野訓宏)